令和４年度　第３１回全日本高等学校女子サッカー選手権富山県大会
実　施　要　項

１　　名　　称　第３１回全日本高等学校女子サッカー選手権富山県大会
２　　主　　催　（公社）富山県サッカー協会、富山県高等学校体育連盟
３　　共　　催　富山県教育委員会、(公財）富山県体育協会、
４　　主　　管　富山県サッカー協会女子委員会、富山県高体連サッカー専門部
５　　後　　援　北日本新聞社
６　　期　　日　令和４年８月２７日（土)、８月２８日（日）
７　　会　　場　オリバースポーツフィールド射水
８　　参加資格
（１）（公財）日本サッカー協会に女子登録した加盟チームであり、かつ高等学校のチームであること。なお、本大会におけるチーム名は学校名とする。
（２）　上記（１）のチームに大会参加申込締切日までに登録された単一の高等学校の生徒選手であること。
（３）外国籍選手：５名まで登録でき、１試合３名まで出場できる。

９　　競技方法
（１）　試合時間は８０分としハーフタイムのインターバルは１０分間とする。
（２）　勝ち抜き方式により、勝敗を決しない時は、ペナルティキック方式で勝者を決定する。但し、決勝戦においては２０分間（１０分×２）の延長戦を行い、なお、決しない場合は、ペナルティキック方式により、勝者を決定する。
（３）　延長戦に入る前のインターバル：５分
（４）　PK 方式に入る前のインターバル：１分
（５）　３位決定戦の終了後、新人大会における抽選を行う。

１０　競技規則
２０２２年度の（公財）日本サッカー協会競技規則による。但し、以下の項目については本大会規定を定める。
（１）　大会参加申込した最大３０名の選手のうち、各試合の登録選手は最大１８名とする。
（２）　交代できる人数は、競技開始前に登録した最大７名の交代要員の中から５名までとする。
（３）　ベンチ入りできる人数は最大１３名（交代要員７名、役員６名）とする。
（４）　本大会において退場を命じられた選手のそれ以降の処置については、本大会の規律・フェアープレー委員会において決定する。
（５）　テクニカルエリア：設置する。
戦術的指示はテクニカルエリア内からその都度ただ１人の役員が伝えることができる。
（６）　第４審判員：大会本部役員が兼務する
（７）　アディショナルタイムの表示：実施する。
（８）　負傷した競技者の負傷の程度を確かめるために入場を許される役員の数：２名以内
（９）　装身具：一切の装身具の着用を禁止し、装身具を覆うテープの使用も不可とする。
（１０）飲水タイム：主審の判断により実施する。
１１　参加申込

（１）　参加申込し得る人数は、各チーム役員６名・選手３０名を最大とする。

（２）　締切期日　令和４年８月１７日（水）正午必着

【申込先】富山国際大学付属高等学校　教諭　髙　橋　　力

【申込方法】　別紙参加申込書にデータ入力シートを記入し、下記宛てに電子データで送る。その際、必ず「〇〇高校メンバー表」としてタイトルを付けて送付する。尚、押印したものについては大会当日、本部に提出すること。

E:mail：takahashi@tuins-h.ed.jp

（３）　上記の締め切り以降の申込内容の変更は認めない。

１２　大会参加料　２１，０００円（申込締め切り日までに振込み）

【振込先】　口座名義　ｼﾔ）ﾄﾔﾏｹﾝｻﾂｶｰｷｮｳｶｲ

北陸銀行　電気ビル支店　店番号 103

口座番号　普通　5035050

振込名　　「504〇〇〇〇高等学校（女子）」

振込手数料は参加チーム負担とする。

１３　ユニフォーム

２０２２年度の（公財）日本サッカー協会ユニフォーム規定による。

但し、以下の項目については特に本大会用として規定を定める。

（１）ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ストッキング）については。正の他に副として、正と色彩（濃淡）が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込の際に記載し、各試合に必ず携行すること。（ＦＰ・ＧＫ用共）。

（２）シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。

（３）ソックスにテープまたはその他の材質のものを張り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。

（４）アンダーシャツ、アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし、原則としてチーム内で同色のものを着用する。

（５）選手番号は参加申込に登録した選手番号を付けること。ユニフォームのシャツが縞（縦縞も横縞も）の場合は、台地（白布地等）（縦 30cm×横 30cm 位）に背番号を付け、判りやすくすること。

（６）ユニフォームの色彩、選手番号の参加申込締切日以後の変更は認めない。

（７）ユニフォームへの広告表示については認めない。

（８）ユニフォームに他のチーム（各国代表・プロクラブチーム等）のエンブレム等が付いている物は着用できない。

１４　試合球　　検定球５号

１５　表　彰

優勝チームから３位チームには賞状を授与する。

１６　傷害保険

参加チームは必ず傷害保険に加入していること。なお、主管者は、試合会場での応急処置のみを行うものとする。

１７　感染症対策　富山県高等学校体育連盟　新型コロナウイルス感染症に係る基本方針に準ずる。

１８　その他

（１）選手資格確認。試合ごとに行う。マッチコーディネーションミーティングに選手証を持参し競技本部のチャックを受ける。

＊日本サッカー協会に登録しているが、選手証発行が間に合わない場合は、登録を証明する書類を提出すること。

（２）各試合競技開始時間の 80 分前にマッチコーディネーションミーティングを開催する。マッチコーディネーションミーティングに於いてメンバー用紙の回収､両チームユニフォームの決定、諸注意事項の説明等を行う。

（３）大会規定に違反し、その他不都合な行為（高校チームとしてふさわしくない行為等）のあった時は、そのチームの出場を停止する。

（４）大会要項に規定されていない事項については女子委員会において協議の上決定する。

（５）開会式は行わない。

（６）雷による中止、再試合等の基準は、マッチコーディネーションミーティングで確認する。

（７）優勝校は、富山県代表として、第３２回全日本高等学校女子サッカー選手権北信越大会への出場権を与える。

（８）大会開始日に新型コロナウイルス感染症により休校の措置がとられているチームの参加は認めない。

（９）参加チーム校の生徒、教職員及びスタッフに新型コロナウイルスの感染者が出た場合、①当該チームは、専門部に直ちに連絡するとともに活動を停止し、その後の活動については専門部と協議の上、判断を専門部に委ねることとする。②当該チームの感染が確認された日からさかのぼって、この間に対戦もしくは同一会場を使用したチームについては、感染拡大防止の観点から、専門部の判断により活動を停止することがある。

(10) 参加チーム校の生徒、教職員及びスタッフ並びに生徒、教職員及びスタッフの家族が濃厚接触者として特定された場合は、当該の生徒及び教職員の活動を新型コロナウイルス感染者と最後に濃厚接触した日から起算して 14 日間の活動停止とする。

(11) 参加チーム校の生徒は試合当日に自宅・学校等で必ず検温を実施すること。また、参加チーム校においては、会場到着時に選手の健康観察（発熱の有無、咳や喉の痛みなど風邪の症状の有無、嗅覚や味覚の異常の有無等）を行い、体調に少しでも異常がある場合は参加を見合わせるなどの対応を取ることとする。検温をしていない選手については検温を行う。なお、平熱を超える発熱（概ね 37.5 度以上の発熱）がある場合は、自覚症状の有無に関わらず、出場及び会場での活動は認めない。

(12) 今後の県内における新型コロナウイルスの感染状況や全国の状況等を踏まえて、安全な実施が困難である場合は、事前及び開催期間中の大会中止の措置をとることもある。

以上